



2019年5月10日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員兼 CEO 竹内 康雄  
 (コード：7733、東証第1部)  
 問合せ先 IR 部門 バイブレジデント 櫻井 隆明  
 (TEL. 03-3340-2111(代))

### 連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2019年2月8日に公表した2019年3月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2019年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異  
 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益(*)
前回発表予想 (A) (2019年2月8日発表)	790,000	44,000	39,000	26,000	円 銭 19.04
今回実績 (B)	793,862	28,281	20,117	8,147	円 銭 5.97
増減額 (B-A)	3,862	△15,719	△18,883	△17,853	—
増減率 (%) (ご参考)	0.5	△35.7	△48.4	△68.7	—
前期実績 (2018年3月期)	786,497	81,029	76,665	57,064	円 銭 41.71

(\*)当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり当期利益」を算定しています。

#### <差異の理由>

連結業績における売上高については、予想値を上回る着地となったものの、営業利益については医療事業におけるプロダクトミックスの変化に加えて、映像事業において競合環境激化に伴う単価下落による原価率の悪化等による影響が約125億円、また、当社の海外子会社が行った間接税に係る自主調査に関して追加的に徴収が見込まれる税額の引当金約53億円や、婦人科向け製品の開発資産の減損等約21億円を損失計上したことなどにより、2019年2月8日公表済みの連結業績予想値に対しては下回ることになりました。

以 上